ユーザー ガイド

日本語

Lotem 400 Family 用 マルチ カセット ユニット（MCU）

653-00118A-JA

www.creo.com

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本ドキュメントの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本ドキュメントは、Adobe Systems Incorporated の PDF（Portable Document Format）形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本ドキュメントを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、ドキュメント全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本ドキュメントで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、および Acrobat ロゴは Adobe Systems, Inc. の登録商標で、米国特許商標局で登録されており、他の法域で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows 2000、および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本ドキュメントで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害（損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません）、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本ドキュメントのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本ドキュメントの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本ドキュメントにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害（本ドキュメントの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません）についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,969,872	6,134,393	6,283,589
4,456,924	5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,973,801	6,136,509	6,295,076
4,500,919	5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,986,819	6,137,580	6,299,572
4,558,302	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,995,475	6,147,789	6,318,266
4,743,091	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,996,499	6,158,345	6,340,817
4,992,864	5,343,059	5,568,595	5,764,381	5,998,067	6,159,659	6,352,816
5,049,901	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,003,442	6,164,637	6,353,216
5,079,721	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,014,471	6,180,325	6,366,339
5,081,617	5,359,458	5,592,309	5,802,034	6,016,752	6,181,362	6,371,026
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,377,739
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,387,597
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,396,422
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,396,618
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,407,849
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,414,755
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,422,801
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,435,091
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,934,196	6,098,544	6,252,522	
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,942,137	6,107,011	6,260,482	
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,946,426	6,112,663	6,266,080	
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,947,028	6,115,056	6,266,134	
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,958,647	6,121,996	6,267,054	
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,966,504	6,130,702	6,268,948	

Creo Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話： 1-604-451-2700
FAX: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

653-00118A-JA
最終更新日：２００５ 年 ６ 月

Lotem 400 Family 用 MCU（マルチ カセット ユニット）ユーザー ガイド

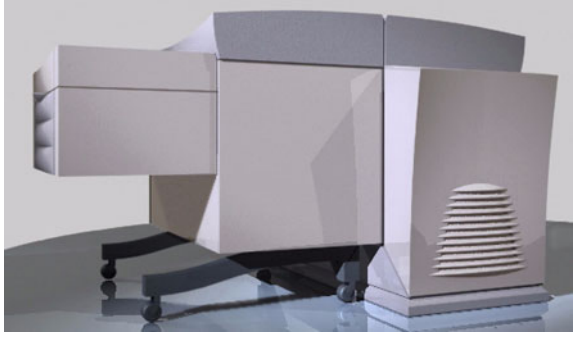
概要 2

PC コントローラ アプリケーション 4

MCU にプレートをロードする 5

操作について 9

合紙の廃棄 10



概要

Lotem 400 プレートセッターには、**オート プレート ローダー（MCU）**が付属しています。MCU を使用することにより、プレート処理が完全に自動化され、ユーザーが操作する必要がなくなります。MCU にはさまざまな種類とサイズのプレートをセットすることが可能なため、プレートを頻繁に交換する必要がある場合に MCU を使用すると、生産性が向上します。**このマニュアルでは補足的な説明のみを行います。操作の前に、必ず『Lotem 400 Family User Guide（Lotem 400 Family ユーザー ガイド）』（399Z1N136）または『Lotem 400 Quantum ユーザー ガイド』（731-00397A-JA）をお読みください（Lotem 400 Expose をお使いの場合は、『Lotem 400 Family User Guide（Lotem 400 Family ユーザー ガイド）』と『Lotem 400 Expose User Guide（Lotem 400 Expose ユーザー ガイド）』の両方をお読みください）。**



注意：このマニュアルでは、Lotem 400、Lotem 400 Quantum、および Lotem 400 Expose 用の MCU 独自の機能についてのみ説明します。特に指定がない限り、Lotem 400 とは、すべての機器を総称しています。

MCU には 3 つのカセットがあります。新しいジョブで別のカセットのプレートを使用する場合でも、ユーザーが操作する必要はなく、アプリケーションによってすべての処理が自動的に行われます。



注意：Lotem 400 を MCU 付きにアップグレードした場合は、プレートのロードには常に MCU を使用してください。プレートを 1 枚だけ手動でロードすることはできません。

Lotem 400 用 MCU のご利用をお勧めするユーザー：

- 複数のサイズで出力を行い、さまざまな種類とサイズのプレートを頻繁に使用されるお客様
- 至急の作業に短時間で対応する必要があるお客様
- パンチを使用できる全自動のデバイスを必要とされるお客様

次の図は Lotem 400 用 MCU の外観です。

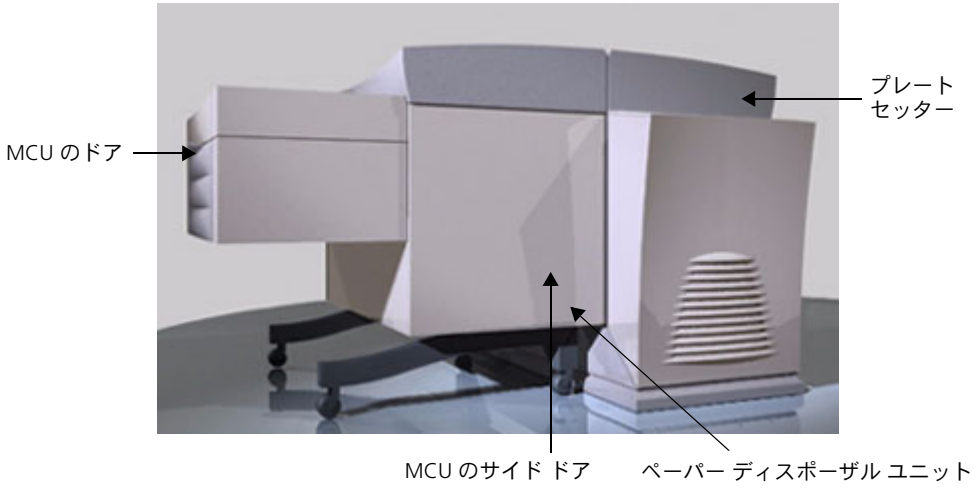


図 1：Lotem 400 用マルチ カセット ユニット（MCU）

Lotem 400 で使用されるプレート：

- プレートの種類：あらゆる種類のサーマル プレートをサポート
- MCU には 3 つのカセットがあり、それぞれ別の種類のプレートをセットできます。カセットには、厚さ 0.3 mm のプレートを 50 枚、または厚さ 0.15 mm のプレートを 70 枚セットできます。
- プレートのサイズ：311 x 228 mm（12.25 x 9 インチ）以上 622 x 750 mm（24.5 x 29.5 インチ）以下。

Lotem 400 用 MCU では、合紙付きのプレートを使用できます。後で説明するとおり、合紙は自動的に取り除かれます。合紙がない場合、エラーメッセージが表示されますが、露光は続行されます。

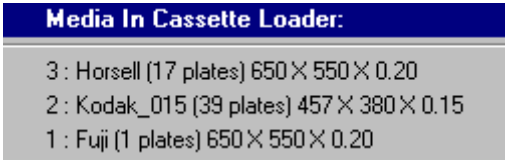
PC コントローラ アプリケーション

Lotem 400 用 MCU アプリケーションは、Lotem 400 アプリケーションとほとんど同じです。Lotem 400 用 MCU に特有のアプリケーション機能について、以下で説明します。

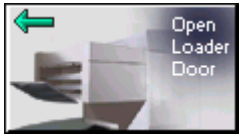
注意：Lotem 400 アプリケーションの詳細な説明については、『Lotem 400 Family User Guide（Lotem 400 Family ユーザー ガイド』（399Z1N136）、『Lotem 400 Quantum ユーザー ガイド』（731-00397A-JA）、および『Lotem 400 Expose User Guide（Lotem 400 Expose ユーザー ガイド）』を参照してください。

オンライン デバイス表示

アプリケーションのメイン ウィンドウに表示されるオンライン デバイス表示では、Lotem 400 用 MCU の状態が表示されます（前ページの図を参照）。オンライン デバイス表示の MCU を右クリックすると、カセットの中身を表示できます。このとき、下のメッセージが表示されます。



Open Loader Door（ローダーのドアを開く）



［**ステータス**］ボタンの右にある［**Open Loader Door**（ローダーのドアを開く）］ボタンは、MCU にプレートをロードする際に使用します。

［Current Cassette（現在のカセット）］ウィンドウ

Lotem 400 用 MCU の主な特長は、3 つのカセットに別の種類のプレートをセットできることです。［Current Cassette（現在のカセット）］ウィンドウは、カセットにロードされているプレートを確認するために使用されます。

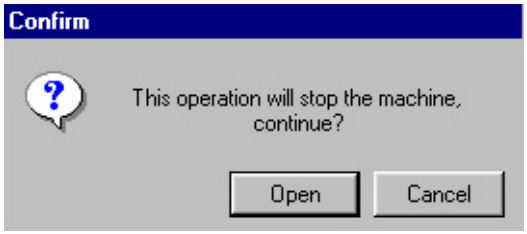
MCU にプレートをロードする

MCU にプレートをロードするには、MCU のドアを開く必要があります。ドアを開き、プレートをロードすることができるタイミングについて、次の手順で説明します。

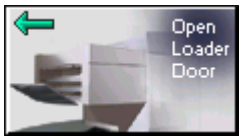
MCU にプレートをロードする際には、プレートセッターのステータスは［**Service**（サービス）］で、ワークステーションのキューにある他のジョブは保留状態になります。そのため、プレートをロードしたら、ジョブを再送信してキューを再開する必要があります。

MCU にプレートをロードするには、以下の手順に従います。

最初に、MCU のドアを開きます。デバイスが出力中に［**Open Loader Door**（ローダーのドアを開く）］をクリックすると、次のメッセージが表示されます。



- ［**Cancel**（キャンセル）］をクリックすると、ドアが開かずに出力が続行されます。
- ［**Open**（開く）］をクリックすると、出力が停止し、ジョブは Failed（失敗）キューに送られます。これでプレートセッターが［Service（サービス）］ステータスとなり、MCU のドアが開きます。次のページの手順に進みます。



プレートセッターが動作を停止している間に、以下の操作を行います。

1. アプリケーションのメイン ウィンドウで［**Open Loader Door**（ローダーのドアを開く)］をクリックし、MCU のドアのロックを解除します。オンライン デバイス表示の MUC のドアをクリックして、ドアを開くこともできます。

   ［**Open Loader Door**（ローダーのドアを開く）］をクリックした場合、ドアを開くことができる時間が限定されることに注意してください。時間が過ぎるとドアをロックするピンが作動するため、ドアを開くにはもう一度ロックを解除する必要があります。

2. MCU の前面に移動し、MCU のドアを押すとラッチが外れます。ラッチが外れるとドアが開きます。このとき、デバイスは［**Service**（サービス)］ステータスです。

3. 3 つのカセットのうち 1 つを引き出します。完全に引き出すと、ロックがかかってカセットが定位置に固定されます。



注意：上から 2 段目までのカセットは完全に引き出すことができますが、最下段のカセットは 3 分の 2 までしか引き出せません。

4. カセットにプレートをロードします。プレートはカセットの中央に置いてください。カセット内には目盛りがあり、これを目安にしてプレートをカセットの中央に置きます。必要に応じて、左右と先端のプレート ガイドを移動します。

   上から 2 段目までのカセットと最下段のカセットでは、プレートをロードする手順が若干異なります。最下段のカセットでは、左右いずれかのガイドを移動すると、反対側のガイドも同時に移動します。上 2 段のカセットの場合、左右のガイドは個別に移動する必要があります。

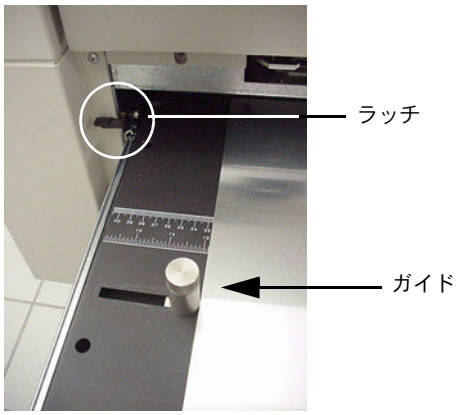
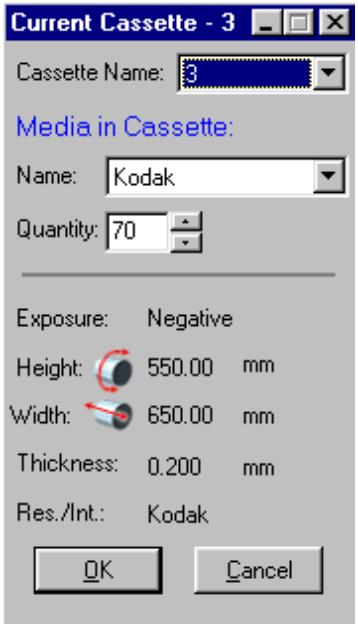


図 2：上段カセットのサイド ガイド

5. プレートをロードしたら、カセットの左右のラッチを押してストッパーを解除し、カセットを MCU 内に押し込みます。
6. セットされたカセットの番号が自動的に識別されます。カセットには、下から順に 1、2、3 という番号が付けられています。アプリケーションのメイン ウィンドウに、対応するカセットの［Current Cassette（現在のカセット）］ウィンドウが開き、セットしたカセットの番号が表示されます。



7. ［Current Cassette（現在のカセット）］ウィンドウで、プレートの名称と枚数を選択します。［**OK**］をクリックして、このウィンドウを閉じます。
8. 必要に応じて、他のカセットにプレートをロードします。メイン ウィンドウに、各カセットの［Current Cassette（現在のカセット）］ウィンドウが開きます。次に手順 7 を繰り返します。

複数のカセットに同じ種類とサイズのプレートがセットされている場合、プレートの合計枚数が計算されます。一方のカセットが空になった場合、同じプレートがセットされたもう一方のカセットからプレートが自動的にロードされます。

注意：カセットの中身を表示するには、オンライン デバイス表示で右クリックします。

9. MCU のドアを閉じます。
10. デバイスのステータスが、［**Service**（サービス）］から MCU のドアを開く前の状態にリセットされます。プレートのロード中に保留されていたジョブを再開するには、ワークステーションからジョブを再送信する必要があります。

操作について

Lotem 400 用 MCU を使用したワークフローは Lotem 400 とほぼ同様ですが、使用中のプレート以外のプレートにジョブを送信することができるため、いくつか異なる点があります。

- PC コントローラ アプリケーションは、要求されたプレート サイズがカセットにあるかどうか、自動的にチェックします。
- 要求されたプレートがカセットのいずれかにある場合、このジョブの処理準備が完了すると、プレートはカセットから自動的にロードされます。
- 要求されたプレートがカセットにない場合、ジョブは中断されます。ワークステーションと Lotem の画面に警告メッセージが表示され、アプリケーションはキュー内の次のジョブの処理を開始します。



Brisque for CTP ワークフローの詳細については、『Brisque to Lotem Family Connectivity User Guide（Brisque と Lotem Family との接続ユーザー ガイド）』（399Z3R084）または『Brisque to Lotem 800 II / Lotem Quantum Connectivity User Guide（Brisque と Lotem 800 II ／ Lotem Quantum との接続ユーザー ガイド）』（399Z1R762B）を参照してください。

合紙の廃棄

Lotem 400 プレートセッター用 MCU では、合紙が入ったままプレートをセットします。プレートがデバイスにロードされる際、合紙は自動的に取り除かれ、ペーパー ディスポーザル ユニットに集められます。

ペーパー ディスポーザル ユニットのセンサーから PC コントローラのカウンタにデータが送られ、デバイスにロードされたプレートの枚数がカウントされます。カウンタが一定の数値に達した場合、ペーパー ディスポーザル ユニットを空にする必要があります。このとき、カウンタは 0 にリセットされます。

ペーパー ディスポーザル ユニットがいっぱいに近づくと、メッセージ ウィンドウに警告メッセージが表示されます。このとき、すぐに合紙を廃棄することも、ユニットがいっぱいになってデバイスが停止するまで作業を続けることもできます。合紙を取り除かないと作業が続行できなくなったとき、以下の警告が表示されます。



- ステータス インジケータに［**Attention**（アテンション）］と表示されます。
- メッセージ ウィンドウに、合紙を除去するように求めるメッセージが表示されます。

ペーパー ディスポーザル ユニットを空にするには、以下の手順に従います。



重要：プレートがドラムにロードされている間は、ペーパー ディスポーザル ユニットを開かないようお勧めします。ただし、出力中およびプレートのアンロード中はペーパー ディスポーザル ユニットを開いてもかまいません。

1. ペーパー ディスポーザル ユニットは、MCU の左または右のサイドドアの内側にあります。いずれかのドアを開くには、ドアの下にある押しボタンを押し上げます（ドアの位置については 3 ページの図 1 を参照）。



図 3：サイド ドアのラッチの解除

注意：ドアを開くと、プレートセッターのステータスが［Service（サービス）］でない場合は［**Service**（サービス）］にリセットされ、廃棄用モーターのインターロックが作動します。

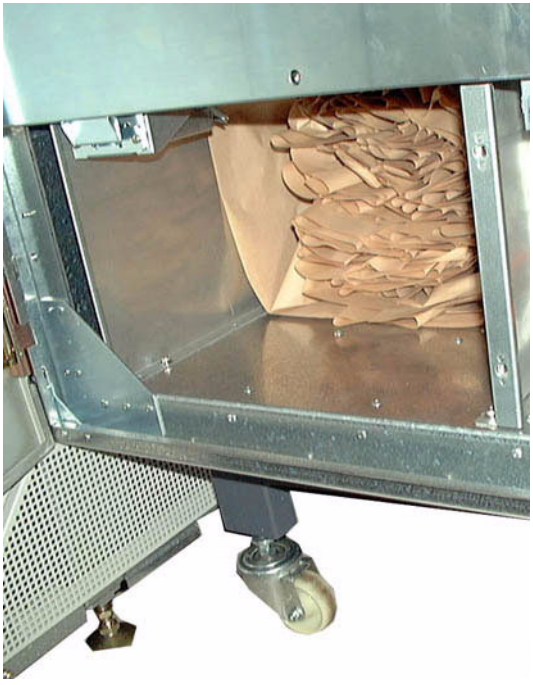


図 4：ペーパー ディスポーザル ユニット

2. 合紙を引き出します。
3. デバイスは［**Service**（サービス）］ステータスのため、メッセージ画面の［**Reset**（リセット）］をクリックしてリセットする必要があります。次にリセットを確認するメッセージで、［**Yes**（はい）］をクリックします。

デバイスは、トラブルが発生する前の状態に応じて［**Ready**（レディ）］、［**Off-line**（オフライン）］、または［**Working**（ワーキング）］ステータスにリセットされます。